

高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 財務省及び国土交通省への合同提言活動

令和6年11月6日（水）、7日（木）に、「高知県道路利用者会議（顧問 楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会【通称：道全協こうち】（会長 池田洋光）」が、財務省及び国土交通省に対して、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保や四国8の字ネットワークの早期開通などについて提言を行いました。

● 提言項目

- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、頻発する災害や物価高騰なども踏まえ、継続的・安定的に対策を進めるため、令和6年度補正予算において、例年を大幅に上回る規模で、必要な予算・財源を確保すること
- 一、令和6年能登半島地震などを踏まえ、既設構造物の機能強化などを推進するため、国土強靱化実施中期計画の策定に早期に着手し、資材価格などの高騰も踏まえた必要な事業規模と期間を盛り込んだ上で、令和6年度内に完了させ、予算・財源を別枠で確保すること
- 一、四国8の字ネットワークの早期開通、暫定2車線区間の4車線化、計画段階評価完了区間の早期事業化などを進め、幹線道路ネットワークを構築すること
- 一、県東西に位置する奈半利室戸道路や幡多西南地域道路は、半島地域における構想路線から、早期具体化に向けた調査中区间へ格上げすること
- 一、資材価格などの上昇に対応する中でも、山積する道路整備の課題に対応し、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、所要額を確保すること
また、国土強靱化のみならず我が国の生産性を向上させ、成長力・国際競争力を強化する観点からも、公共事業を含む令和6年度補正予算を確保すること

● 提言概要

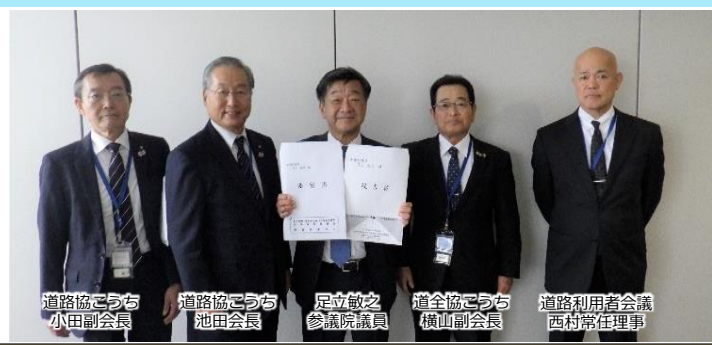
- 提言項目の説明等（楠瀬顧問・池田会長）
 - ・本年度、新たに2区間を事業化していただいたことで、本県の8の字は全線着手となったが、整備率は61%と遅れている。
 - ・南海トラフ地震に備える上で、道路の果たす役割は大変大きく、整備を加速する必要があるが、そのためには、予算の確保が不可欠。
 - ・5か年対策後も引き続き、強靱化の取り組みを進めるためにも、国土強靱化実施中期計画を物価高騰も踏まえた必要な事業規模と期間を盛り込んだ上で、必要な予算・財源を別枠で確保するようお願いする。
- 高速道路の延伸を見据えたまちづくり等（中平副会長）
 - ・南海トラフ地震発生時に長期浸水が懸念される宿毛市では、高速道路の延伸を見据えた防災拠点の高台移転を進めており、事業中区间が完成することで、防災力の向上につながる。
 - ・「幡多西南地域道路」が構想路線に位置付けられているが、能登半島地震を踏まえ、早期具体化に向けた調査中区间への格上げが必要。
- 8の字整備による販路拡大等（横山副会長）
 - ・8の字整備が進むことで、特産物の輸送日数が短縮され、販路拡大に繋がることから、事業中区间の早期完成をお願いする。
 - ・県東部地域においても、幡多地域同様、南海トラフ地震発生後の速やかな救援・救出のため、「奈半利室戸道路」の早期具体化に向けた調査中区间への格上げが必要。
- 国道33号の整備促進（小田副会長）
 - ・高知西バイパスの全線開通により、定時性・速達性が向上し、いの町では、インバウンド客が増加。こうした効果をいの町以西へ発現させるためにも、高知松山自動車道「いの～越知」間の早期事業化をお願いする。
 - ・一方で、国道33号の事前通行規制区間では、本年度も約50時間の通行止めが発生するなど、日常生活に支障を来しているため、事前通行規制区間の解消が望まれる。

● 提言先（国土交通省 尾崎正直 政務官）からの回答



- 構想路線は、南海トラフ地震に備える上でも、しっかりと取り組んで欲しい。また、三原村を經由し、大月町・土佐清水市へ物資輸送出来るよう、県道整備の優先順位を上げていくべき。
- 高知松山自動車道「いの～越知」間は、計画段階評価が完了し、いよいよ都市計画手続きに着手することとなる。

● 県選出関係国会議員からの回答



中西祐介参議院議員からは、国全体の総予算の確保が大事となる。国土交通省や財務省に対して、しっかりと声を届ける。と力強いお言葉をいただいた。

● 国土交通省（廣瀬昌由 技監）からの回答

- 道路が寸断されると物資輸送に大きな支障を来すことから道路の機能強化が必要。8の字の効果は大きいと認識。
- 国交省として、補正予算、当初予算、さらには国土強靱化実施中期計画で予算をしっかりと確保したいと考えており、ご支援をお願いするとともに、日頃の熱心な活動に敬意を表す。



● 財務省（尾身伴則 主査）からの回答



- 11月～12月にかけ、補正予算、当初予算の編成作業を行うが、財務省としても物価高騰に悩まされている。
- 限りある予算の中で、効果が高いところに配分をするなど、優先順位を付ける必要がある。とご理解あるお言葉をいただいた。

● 国土交通省（山本巧 道路局長）からの回答

- 8の字は事業中箇所が増加し、同じ予算では整備速度が減速してしまう。中期的に安定して事業を進める必要がある。
- 構想路線についても認識。まずは事業中箇所を終わらせ、そこに次の事業を入れる。そのためにも、予算の確保に向け、しっかりと頑張る。と力強いお言葉をいただいた。

